

我が家の家計簿

ズバット!

診断

マイホーム
購入検討中

生命保険の見直し時期とは？

Q 住宅の購入と、生命保険って関係があるの？

今回、兼ねてからの夢でもあったマイホームを購入する事がほぼ決まったのですが、親切に下さっているハウスメーカーさんから「今、加入の生命保険を見直してみたらどうですか？」と、アドバイスを受けた。確かに私達夫婦の生命保険は、結婚を期に若干の内容変更や受取人をお互いに変更したくらいで、その後、見直しはしていません。生命保険は、頻繁に見直しをするべきなのでしょうか？教えて下さい。住宅ローンは35年で組む予定ですが、(私)妻は、働ける限り仕事は続けたいと思っています。

A 意外！奥様の生命保険がカギ!!

親切なハウスメーカーであれば、住宅以外の周辺の事までアドバイスしてくれる方はいらっしゃいます。まずは、「Q、生命保険は頻繁に見直すべきなの？」この質問について、お答えします。大きく分けると3回です。①結婚②出産③住宅購入、すなわち大きくライフスタイルが変化する時期、見直し時です。今回、Yさんの家計簿を拝見すると、奥様の収入がこれからの住宅ローンの返済や教育費、生活費に多大に貢献しています。これは共働きのご家庭で、よく見受けられるケースです。

35年ローンでマイホームを購入予定

行橋市在住 Yさん家族

夫36歳(会社員)、妻35歳(会社員)、長女4歳(保育園)、長男2歳(保育園)

月間収入

夫(手取)	250,000円
妻(手取)	140,000円
児童手当	25,000円
計	415,000円

【年間収入】

賞与(夫)	400,000円
賞与(妻)	300,000円
計	700,000円

月間支出

住宅ローン(予定)	93,000円
保育料	48,000円
食費	30,000円
水道光熱費	22,000円
通信費(電話代)	18,000円
交通費(ガソリン/高速代)	15,000円
日用品代	10,000円
新聞代	3,000円
洋服代	10,000円
家族娯楽費	10,000円
お小遣い(夫)	30,000円
お小遣い(妻)	30,000円
積立貯蓄	25,000円
生命保険(夫)	17,900円
生命保険(妻)	10,500円
計	372,400円

【現在の貯蓄】

預貯金残高	1,000,000円
計	1,000,000円

【年間支出】

固定資産税(予定)	70,000円
冠婚葬祭費	70,000円
自動車税(2台分)	14,400円
損害保険料(自動車2台分)	90,000円
贈答費用	70,000円
娯楽費用	50,000円
積立貯蓄	300,000円
計	664,400円



(株)インシュアランスバンク
ライフプランナー

草刈 隆男

プロフィール
1978年12月25日生まれの34歳。A型。外資系保険会社を経て、お客様へのサービスの枠を広げるため総合保険代理店へと転身。幅広い年齢層の顧客へライフプランニングをしており、2か月先まで紹介予約が入る人気プランナー。お世話になっている地域に、恩返ししたいと消防団に所属。社会貢献にも力を入れている。

住宅ローンを借りる際に、多くは債務者が死亡、または高度障害に陥った場合、ローン残高分の保険金がある「団体信用生命」に加入します。しかし、ほとんどのケースで夫が加入していて、妻が亡くなっても保険はおりずにローンは無くなりません。また、Yさんご家族では夫が亡くなった場合、お子様が18歳の三月まで約二三十万円の遺族基礎年金が给付されます。しかし、奥様に先立たれた場合、遺族基礎年金の给付はなく、お子様に対して生前の所得に応じた遺族厚生年金が给付されるのみです。以上のことから、Yさんご

家庭では、奥様に将来の収入分くらい死亡保障が必要かもしれませんね。

一度、この家計簿を基にライフプラン(将来設計)をたててみてはいかがですか？ご主人はもちろんです、奥様に必要な死亡保障額が分かりますよ。

住宅ローン
生命保険